

三陸の近景

④

工房の風景

支援のあり方も多様になってきました。ボランティア活動だけが支援なのではなく、観光業を活性化させることも支援の一つと言われています。

「あまちゃん」人気の北三陸地域を筆頭に、三陸の各市町村は観光産業に力を入れ始めています。沿岸部の宿泊施設も徐々に再開を始めましたが、土産物を買う場所などはまだまだ少なく、観光客を受け入れる体制が万全とも言えません。そこで、今おすすめしたい支援の形が「お取り寄せ」です。

このたび「とまり木」が設置され、ご縁のできた岩手県陸前高田市の広田半島では、営農組合女性部が地元産の食材を使った手作り食品の工房「めぐ海（めぐみ）」(写



真)を再建しました。

同工房は2010年に設立されましたが、売上げが軌道に乗りはじめた最中、震災に見舞われたのです。工房は全壊し、自宅を失ったメンバーもいらっしゃいます。震災から1年を経てようやく工房の

再建にこぎ着けたと伺いました。

もともと陸前高田市はホタテやワカメ、カキなど、季節によって海の幸が豊富な地域です。女性部のメンバーでアイデアを出し合い、地元の良質の素材を生かした「おふくろの味」を商品化しているとのこと。

生地に米粉を使ったおやき「めぐ海焼き」(1個150円)は、現在の看板商品で、ホタテや昆布、地元産のリンゴを使ったものなど、季節によって具材が変わるので旬の味を楽しむことができます。湯気立つ工房でメンバーの方々の作業風景を眺めながら、「お取り寄せ」という形で応援したいと思います。(金澤 豊)

「工房 めぐ海」

岩手県陸前高田市広田町字山田46-6(平日のみ営業)

☎0192(56)4430(ファクスも同じ)

陸前高田市観光物産協会のホームページも併せてご覧ください。

<http://www.3riku.jp/kanko/index.html>